

## 平成 25 年度 第 2 回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会 議事要旨

日 時：平成 26 年 2 月 19 日（水）15：30～17：00

場 所：茨木市役所 本館 6 F 第 1 会議室

出席者：三谷委員長、志賀委員、近藤委員、寺田委員、高石委員、前田委員、西村委員、  
小林委員、領家オブザーバー  
（茨木市）徳永商工労政課長、村山商工振興係長、白木商工労政課職員  
（事務局）アルパック 原田、石井

次 第：開会

- 1 本委員会の目的の確認
  - 2 アクションプランの 5 つの重点施策に関する今年度の取組報告
  - 3 アクションプランの進捗状況
  - 4 その他
- 閉会

### 開会

#### 1 アクションプランの 5 つの重点施策に関する今年度の取組報告

（資料説明）／ 事務局

#### 2 アクションプランの進捗状況

（資料説明）／ 事務局

- ・事務局から委員の方々をお願いしたいことは、① 3 年間の事業に対する評価と、② 新しい事業提案についてご検討をお願いしたい。
- ・次回までに意見をいただき、会議で議論していただきたい。

#### ■意見交換

##### A 委員

- ・スイーツフェア参加者へのフィードバックはどうなっているのか。

##### 事務局

- ・市からアンケートの集計結果についてお返ししている。

##### A 委員

- ・お疲れ様でしただけではもったいない。スイーツフェアを 2 回行った成果を無駄にしないようにすべきである。参考になる意見もあり、やる気のある商業者もゼロではない。
- ・アンケート結果もただフィードバックするのではなく、分析を踏まえて行うことが重要である。
- ・イベントで成果を出すには何をしなければならないのか、伊丹バルで起きたことを茨木市でも起こすことができないのかを考えてもらいたい。

##### 事務局

- ・飲食店中心のバルとスイーツフェアは異なる面もある。

#### A 委員

- ・「知らない店に行くことができた」という成果が一番大切であり、バルにもスイーツフェアにも共通する。これまで店に来なかったお客様を呼びこむことが、スイーツフェアでも可能だった。

#### 委員長

- ・今回作成したスイーツフェアのマップ自体も宝物である。

#### A 委員

- ・スイーツフェアには大変な労力がかかるため、当初から賛否両論があった。しかし、開催までこぎつけ2年間は続けた。その成果をどう生かすかという議論がなければもったいない。

#### B 委員

- ・中小製造業者のアンケート回答者への訪問が必要だと思う。もう一段踏み込んだフォローを行い、勉強会などを開催し掘り起こしを行うべき。

#### 委員長

- ・3年間継続してきたため、さらなる検証や事業者に対するフォローアップは来年の事業にも含まれるだろう。

#### A 委員

- ・ヴィンテージカーショーが続いていることはすごいことである。関西でのヴィンテージカーショーはこの茨木市ぐらいであり、既に一定の成果が上がっているだろう。
- ・民間主体となったため、今年中止になるのではと心配だったが、無事に開催された。補助金を活用した事業であったが、独り立ちすることができた。

#### オブザーバー

- ・ヴィンテージカーの常設展が大阪南港に設置される。

## 4 その他

#### 委員長

- ・次回委員会は3月25日14:00に開催予定である。開催場所は現在は未定なので、また追って各委員に連絡する。

## 閉会